

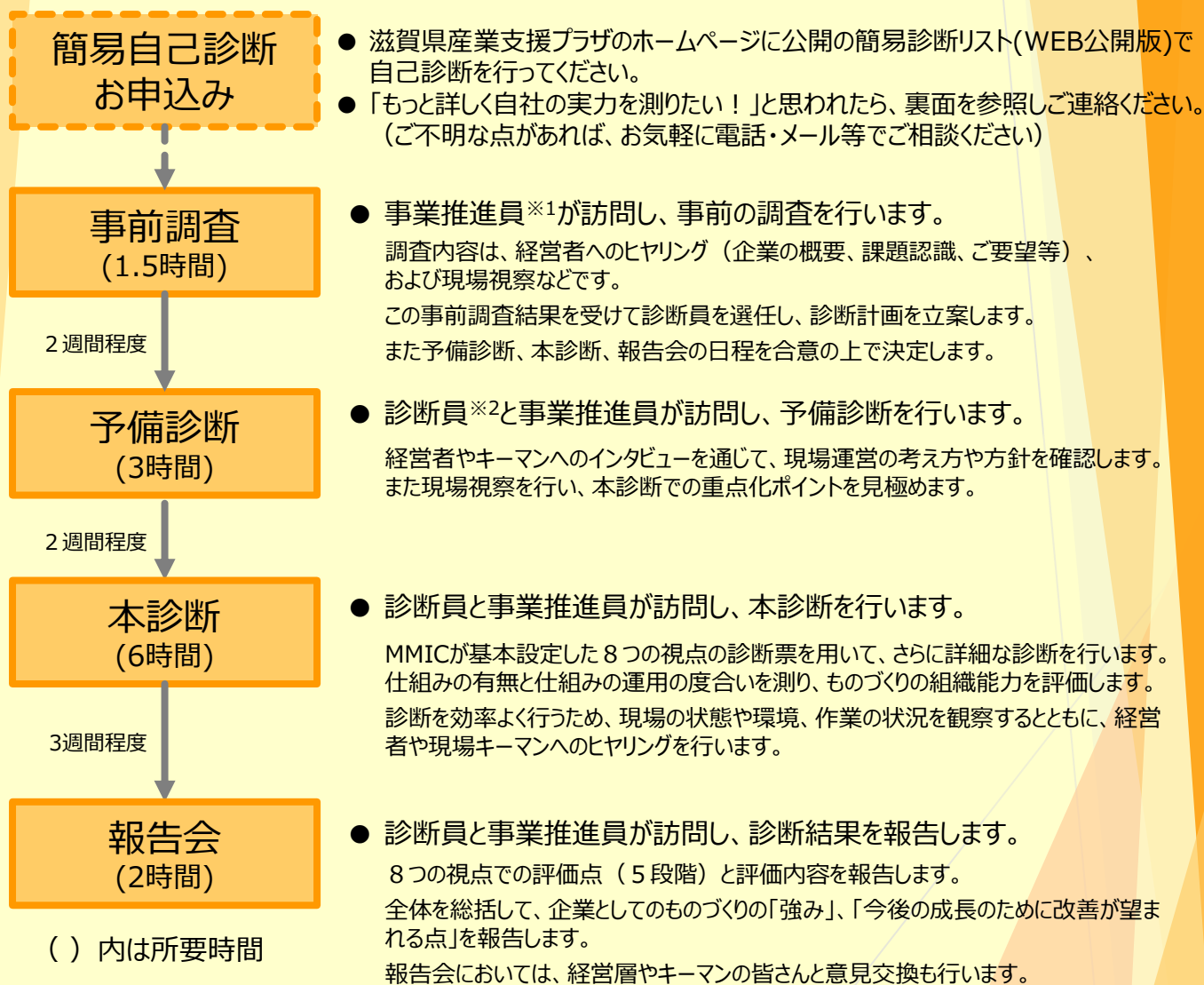
令和6年度（2024年度）

企業ものづくり診断のご案内

経営を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今、企業も機敏に変化し、対応しなくてはなりません。近年、多くの企業が「人材の確保と定着」「仕入れ原価の高騰」など多くの課題に直面しています。しが産業生産性向上経営改善センター（通称MMIC）では、企業のものづくり診断を通じ、自社の「強み」や「改善を要する点」を認識いただき、生産性向上、経営基盤の強化を支援します。

- ★当事業は、現場を中心とした「ものづくり能力」を測り、ものづくりの強み・弱みを見出し、改善の道筋を探るものであり、特別な場合除いて財務系の経営指標に言及することはありません。
- ★診断においては、当該企業と当センターおよび担当する診断員（インストラクター）との間で「機密保持契約」を締結し、診断を通じて得た情報を保全します。

◆企業ものづくり診断の流れ



※1：事業推進員はMMICの嘱託職員であり、診断員の支援と診断事業のコーディネートを行います。
※2：診断員は滋賀県知事が選任した「生産性向上支援インストラクター」が担当します。

◆ しが産業生産性向上経営改善センターとは ～なぜ、そしてどのような「企業ものづくり診断」を行うのか～

● 当センターのなりたちと企業ものづくり診断事業開始のいきさつ

ものづくり企業が持続的に発展するためには、「固有技術」と「ものづくり技術」の双方を高める必要があります。滋賀県では2015年に滋賀ものづくり改善センターを設立し、ものづくり人材の育成を支援し100名を超える生産性向上支援インストラクターを育成、任命しました（前身の野洲スクール修了者を含む）。

また、育成した生産性向上支援インストラクターを要請いただいた県内企業に派遣し、現場現物で生産性改善活動や人材育成を通じて「ものづくり技術」を高めることを支援してきました。

2024年度からは、過去の支援事業で蓄積した知見をもとに、インストラクターが診断員として各企業の「ものづくり組織能力※3」を客観的な8つの視点で測り、改善への道筋をご提案する本事業をスタートし、県内企業への更なる貢献を目指します。

● 診断の8つの視点

診断員となるインストラクターは、生産性向上支援インストラクター養成スクールを修了し認定を受けています。診断に用いる8つの視点とは、

①活性化、②見える化・見せる化、③流れ化、④5S、⑤生産管理、⑥品質管理、⑦設備管理、⑧原価管理です。それぞれに仕組みづくりの状況と仕組みの運用度合いを評価する独自の診断リストを用いて、客観的に診断します。

※3：ものづくり組織能力とは、他の企業からは見ることや簡単に真似ることができない現場の深層の能力のこと

◆ 募集要項

■ 診断費用：一社当たり 26,400円 (税込み)

■ 対象企業：滋賀県内の中小企業者・組合

診断のお申し込みを希望される場合、電話・メール等で連絡いただければ申込書式をお送りします。また下表に必要な事項を記入し、下のお問い合わせ・お申込み先までメールまたはFAXにて連絡ください。事業推進員が日程を調整し、訪問・ご説明いたします。電話でのお問い合わせも受け付けています。

貴社名			
ご住所 <small>または</small> 会社所在地			
<small>フリガナ</small> ご担当者氏名		役職	
電話		FAX	
E-mail	@		

お申込み時にいただいた企業情報につきましては、本企业ものづくり診断事業の他、しが産業生産性向上経営改善センター・滋賀県産業支援プラザからの各種ご案内・情報提供にのみ利用させていただきます。

■ お問い合わせ・お申込み先

しが産業生産性向上経営改善センター（通称 MMIC）

（公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ内）

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21

TEL：077-511-1423

FAX：077-511-1429

E-mail：mmic@shigaplaza.or.jp